

Cerise  日本語マニュアル

FTSLED

Cerise 取扱説明書

目次

はじめに

- ・ iPad で使用する
- ・ コンソールで使用する
- ・ 有線 DMX で使用する

製品仕様について

製品レイアウト

デバイスのアップデート方法

デバイスのリセット方法

ユーザーインターフェイスと設定

Config

- ・ USB IP アドレスの変更
- ・ USB デフォルトゲートウェイ
- ・ ネットワークダイアグラムの機能

Console

- ・ USB IP の取得方法

iOS

windows

Mac OS

- ・ 設定方法

Blackout Lighting Console

Art-Net ブロードキャスト

Art-Net ユニキャスト

sACN

Luminair

Art-Net ユニキャスト

Art-Net ブロードキャスト

sACN

よくある質問

Lightning コネクターの iPad で使えますか？

Cerise はどのデバイスで動作しますか？

iPad で Cerise が認識されません。

IP アドレスを変更したら接続できなくなりました。

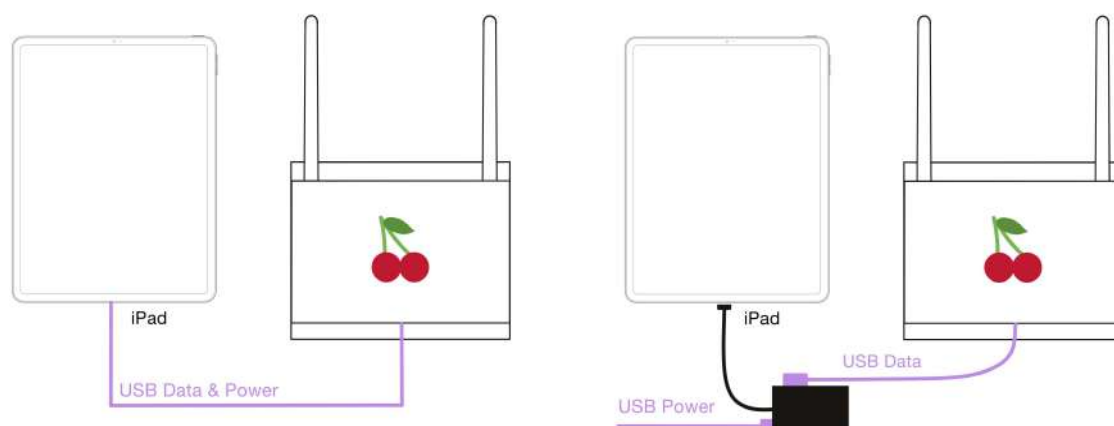
CRMX Toolbox は Cerise で使えますか？

Cerise には CRMX リンクキーがありません。

FCC に関する注意事項

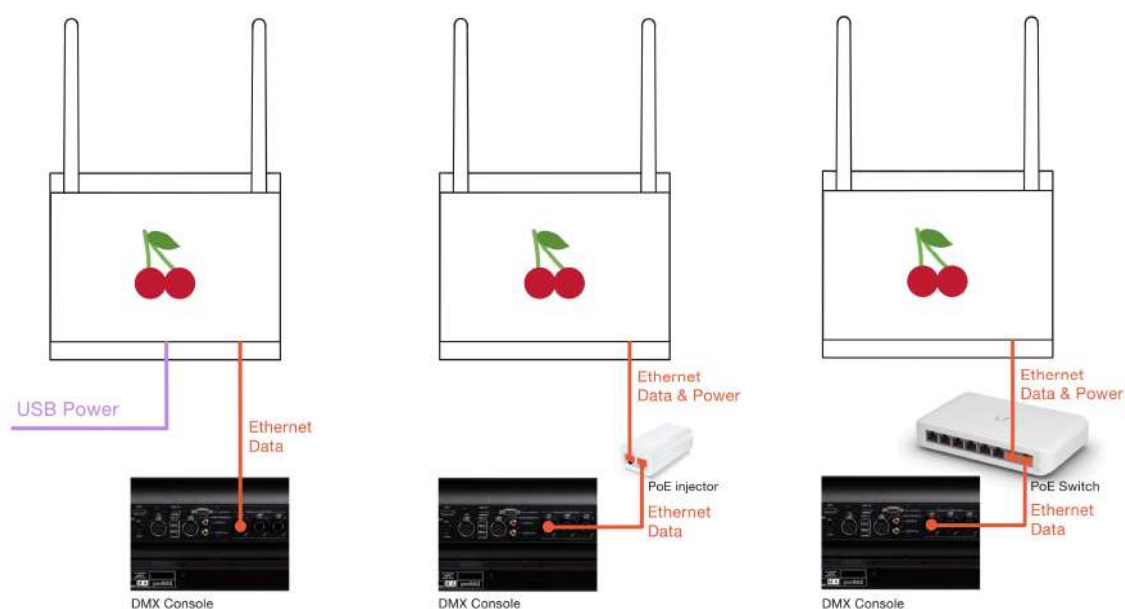
はじめに

【iPad で使用する】



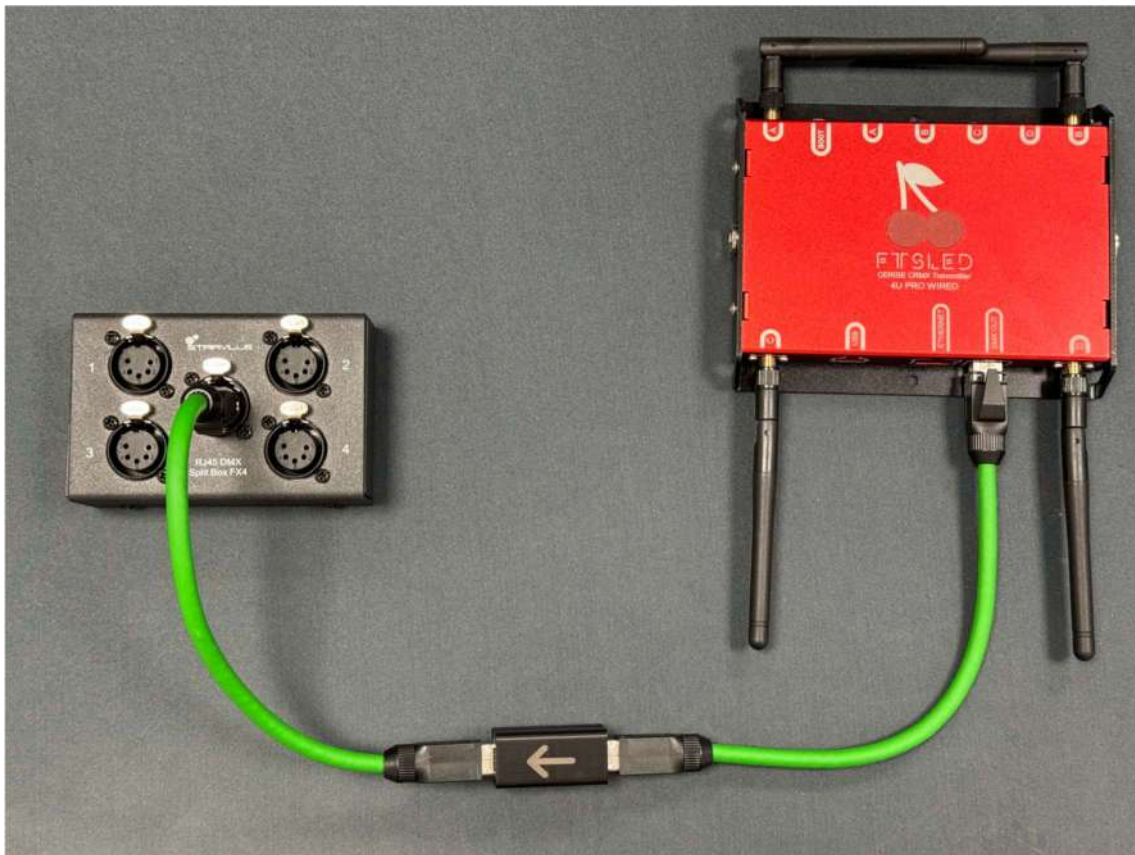
Cerise は、iPad や接続したコンピュータから直接電源供給を受けることができます。付属の分岐アダプターを使えば、iPad を充電しながら Cerise を同時に使用することも可能です。

【コンソールで使用する】



Cerise は DMX コンソールでも問題なく動作しますが、必ず外部から電源を供給してください。

【有線 DMX で使用する】



有線 DMX ブレイクアウトボックスは、4 ユニバースの DMX 信号を受け取り、4 つの個別の XLR 5 ピンコネクタに分配するパッシブアダプターです。

これは「DMX Out」ポートに接続した場合のみ動作します。

省スペースのため、Ethernet と同じ RJ45 コネクタを使用していますが、DMX への変換は Cerise 本体内で行われます。

【製品仕様】

モデル	1U	2U Pro	2U pro Wired	4U Pro	4U Pro Wired
ユニバース	1	2	2	4	4
USB-C	✓	✓	✓	✓	✓
イーサネット	✗	✓	✓	✓	✓
RF スペクトラム解析	✗	✓	✓	✓	✓
パワーオンイーサ	✗	✓	✓	✓	✓
有線 DMX	✗	✗	4 / RJ45 で追加	✗	4 / RJ45 で追加
CRMX リンクキー	✓	✓	✓	✓	✓
USB 消費電力	5V 0.3A	5V 0.4A	5V 1A	5V 1A	5V 1.5A
合計 DMX ユニバース	1	2	6	4	8

▼詳細スペック

USB:

最大消費電力 5V 0.5A(DMX バージョンは 1A)

USB 規格互換性 USB1.1

USB 経由のネットワーク速度 10Mbps

イーサネット

リンクスピード 10/100

PoE (Power over Ethernet) 対応

IEEE802.3af 準拠

入力電圧範囲 36V ~ 57V

モード A & B

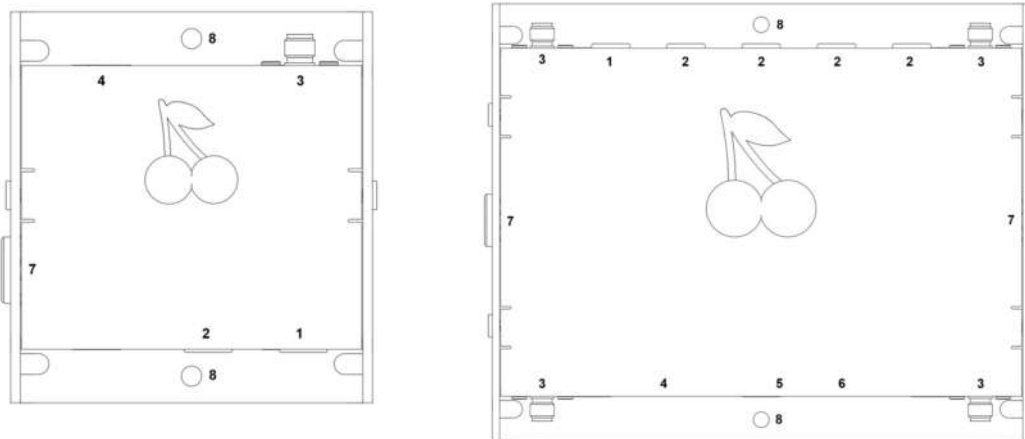
DMX

出力ヘルツ 41Hz

マーキングタイプ LTP

ネットワークプロトコル Art-Net sACN

【製品レイアウト】



1. アップデートボタン・ステータス LED
 - a. 緑 = 電源が入っている状態
 - b. シアン = USB リンクが確立された状態
2. CRMX リンクボタン
3. アンテナコネクタ
4. USB-C コネクタ
5. イーサネット 10/100 RJ45 PoE コネクタ
6. 有線 DMX アウトプット
7. 1/4 マウントポイント
8. M4 マウントホール(4.2mm)

【デバイスのアップデート方法】

1. 次のリンクから最新のファームウェアをダウンロードして、ZIP ファイルを解凍します：
https://drive.google.com/drive/folders/1X_QW4aECtIQzD6QfDS7VVZu9tz8psGlp
2. Cerise 送信機を手に取り、「**Update ボタン**」を押し続けます。
3. ボタンを押したまま、USB type-C ケーブルで送信機をパソコンに接続します。
4. パソコン上に「**RPI-RP2**」という名前の外部ストレージが表示されるはずです。
5. 解凍したファイルの中の「CeriseFirmwareXXX.uf2」というファイルを「RPI-RP2」フォルダーにドラッグ＆ドロップします。
6. 転送が完了するまで待機し、その後、送信機の電源を一度オフ→オンにします。

【デバイスのリセット方法】

1. 以下のリンクから、最新のファームウェアとリセットファイルをダウンロードし、ZIP ファイルを解凍します：

<https://drive.google.com/drive/folders/1kpcCN9JqtBnnWjQxqhmSa1zsbZIKkkyL2>

2. 「CeriseReset_nuke.uf2」 ファイルを送信機に書き込みます。

※この操作により、既存のファームウェアと保存されていた設定が完全に消去されます。

3. 書き込みが完了するまで待ち、送信機の電源を一度オフ→オンにします。

4. 続いて、「CeriseFirmwareXXX.uf2」 ファイルを送信機に書き込みます。

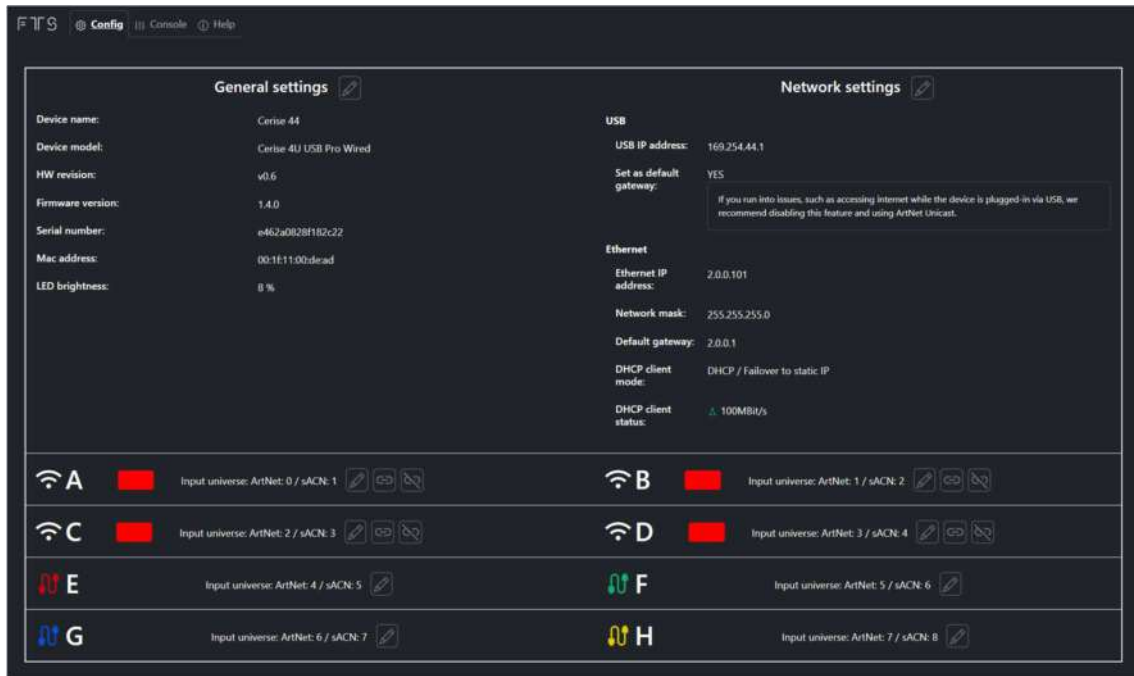
5. 書き込みが完了するまで待ち、再度パワーサイクルします。

6. これで送信機はリセットされ、最新のファームウェアがインストールされた状態になります。

注：この操作を行うと、デバイスに保存されていたすべての設定が完全に消去されます。

【ユーザーインターフェイスと設定】

Config



Cerise は WebUI を使って完全に操作することが可能です。

アクセスするには、対応する IP アドレスをウェブブラウザに入力してください。

- USB 接続の場合のデフォルト IP : **169.254.XX.1**
- Ethernet（有線 LAN）接続の場合のデフォルト IP : **2.00.101**

Cerise を iPad で使用する場合は、設定をデフォルトのままにしておくことをおすすめします。すべてのデフォルトパラメーターはテスト済みで、ほとんどのアプリでそのまま問題なく動作します。

💡 ステータス LED を無効にするには、LED の明るさを 0% に設定してください。

USB の IP アドレスを変更する

Cerise のデフォルトの USB IP アドレスを変更するには、USB IP アドレスの項目を変更し、その後デバイスの電源を入れ直す（再起動）だけです。

Ethernet に関する設定（アドレス、ネットワークマスク、デフォルトゲートウェイなど）は変更する必要はありません。

イーサネットの IP アドレスを変更する

Cerise のデフォルトの Ethernet IP アドレスを変更するには、Ethernet IP アドレスの項目と、それに対応するネットワークマスクおよびデフォルトゲートウェイの項目を変更し、その後デバイスの電源を入れ直してください（再起動）。

注：デバイスの IP アドレスは常に末尾の数字が 1 つ増加します。

たとえば、送信機の IP が **169.254.46.1** の場合、あなたのデバイス (iPad やコンピューターなど) は **169.254.46.2** というアドレスになります。

X.X.X.255 で終わる IP アドレスを設定すると、予期しない動作が起こる可能性があります。

Safari など一部のブラウザは **2.X.X.X** の IP に問題を抱えているため、Google Chrome の使用を推奨します。

また、IP を **169.254.X.X** 以外のものに変更した場合に Web ページへアクセスできない場合は、Wi-Fi 設定を無効にしているか確認してください。

USB デフォルトゲートウェイ (USB のみ)

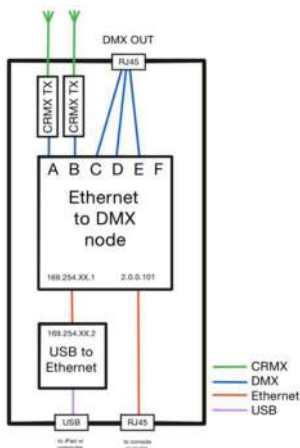
USB のデフォルトゲートウェイを設定すると、文字通り USB インターフェイス用のゲートウェイが構成されます。

ただし、デバイスが Wi-Fi またはルーターに有線接続されてインターネットに接続されている場合、それもゲートウェイとして機能してしまい、競合が発生する可能性があります。

この機能は、送信機使用中にインターネット接続が不要な場合（例：セット専用の iPad を使っている場合）や、USB 経由で Art-Net Broadcast や sACN プロトコルを使用したい場合に有効化することを推奨します。

💡 バージョン 1.6.x 以降では、「USB set default gateway」オプションはデフォルトで無効化されています。

ネットワークダイアグラムの機能



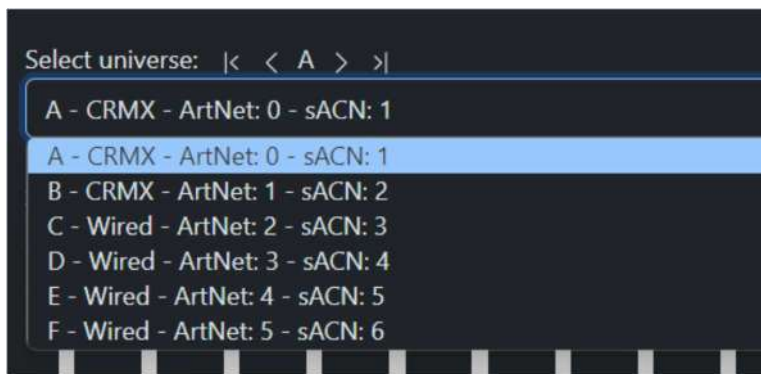
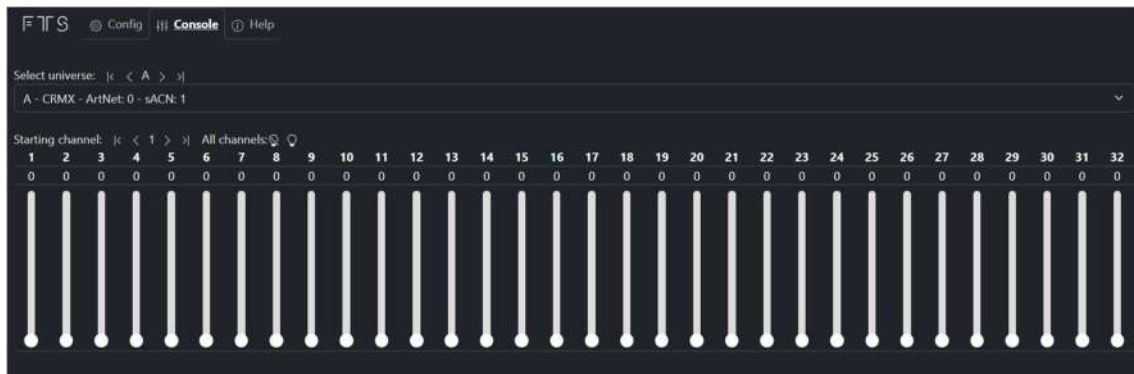
Cerise は一般的な USB to Ethernet アダプターと同様に動作し、ドライバーのインストールなしでほとんどのプラットフォームでサポートされています。

仮想ネットワークカードと DMX ノードの間に専用ネットワークを作成し、そのデフォルト IP アドレスは **169.254.XX.X** で始まります。

DMX ノードの出力数は製品バージョンによって異なり、1 出力 (1U USB) から最大 8 出力 (4U PRO WIRED) まであります。

Ethernet アダプターを使用して Cerise を接続する場合、WebUI の IP アドレスは USB 時とは異なり、デフォルトでは **2.0.0.101** です。

Console



「**Select universe**」では、A～F の出力を選択できます。

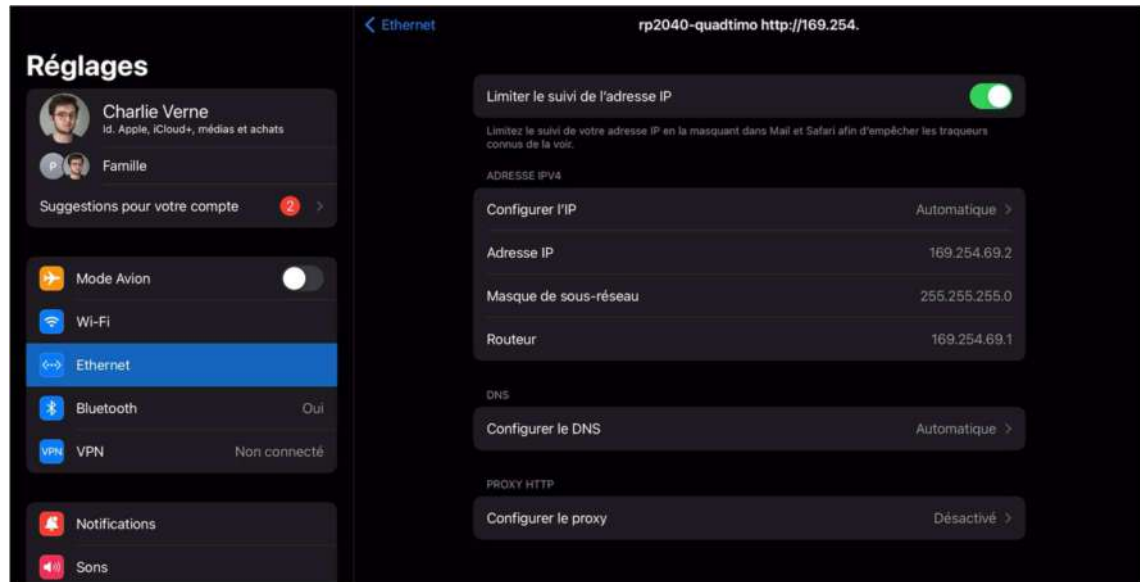
ドロップダウンメニューにより、どのユニバース（出力チャンネル）を表示しているか、またそれが有線か無線かを簡単に確認できます。

コンソールは基本的なフェーダーボードとして使用可能です。

ただし、Art-Net や sACN 経由でネットワークデータが流れてきた場合、データが表示され、フェーダーは操作できなくなります。

【USB IP アドレスの取得方法】

iOS の場合



「設定 > Ethernet > デバイスをクリック」へ移動します。

デフォルトのルーターIP はだいたい **169.254.XX.1** のようになっています。
もし表示されているのがデバイスの IP アドレス（末尾が XX.2）だけの場合は、
そのアドレスをコピーして、最後の「2」を「1」に変更するようにしてください。

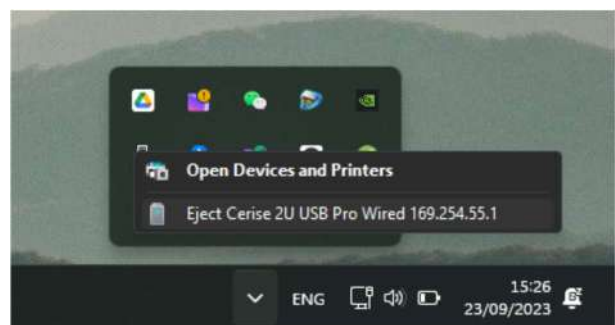
💡 バージョン 1.6.x 以降では、「USB set default gateway」のオプションがデフォルトで無効になっています。

そのため、一部のフィールドが空白になっている場合があります。

それでも、IP アドレスはページ上部にデバイス名として表示されているので、
そこから確認することができます。

Windows の場合

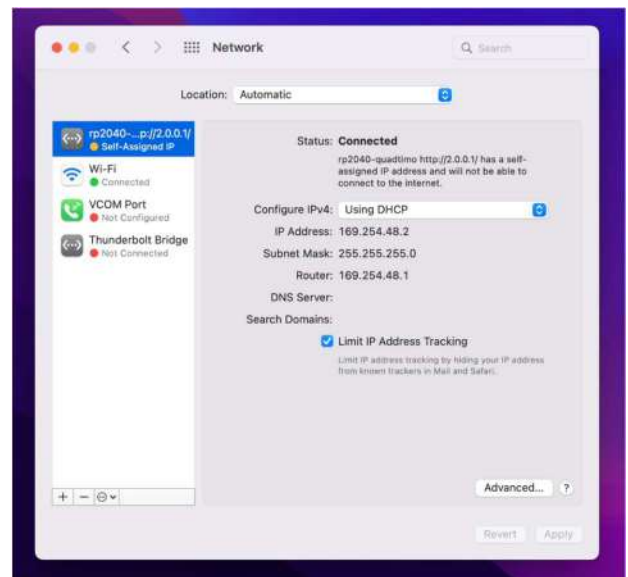
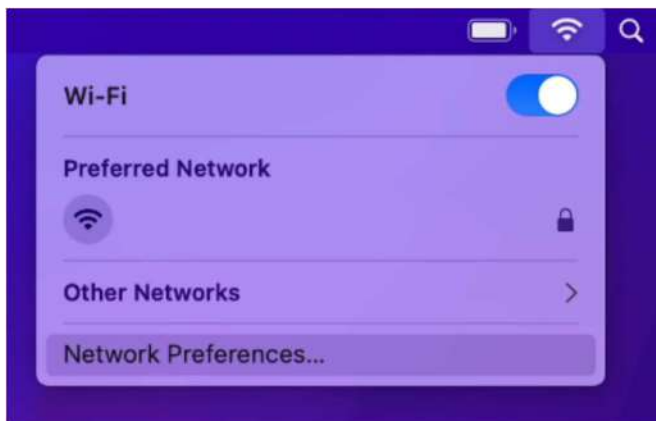
- 1.画面右下の「隠れているアイコンを表示」をクリックします（タスクバーの通知領域）。
- 2.「デバイスとプリンター」のアイコンをクリックします。
- 3.USB IP が名前として表示されたデバイスがポップアップ表示されるはずです。



Mac OS の場合

「ネットワーク環境設定」へ移動し、以下に示されているような適切に名前が付けられたデバイスをクリックしてください。

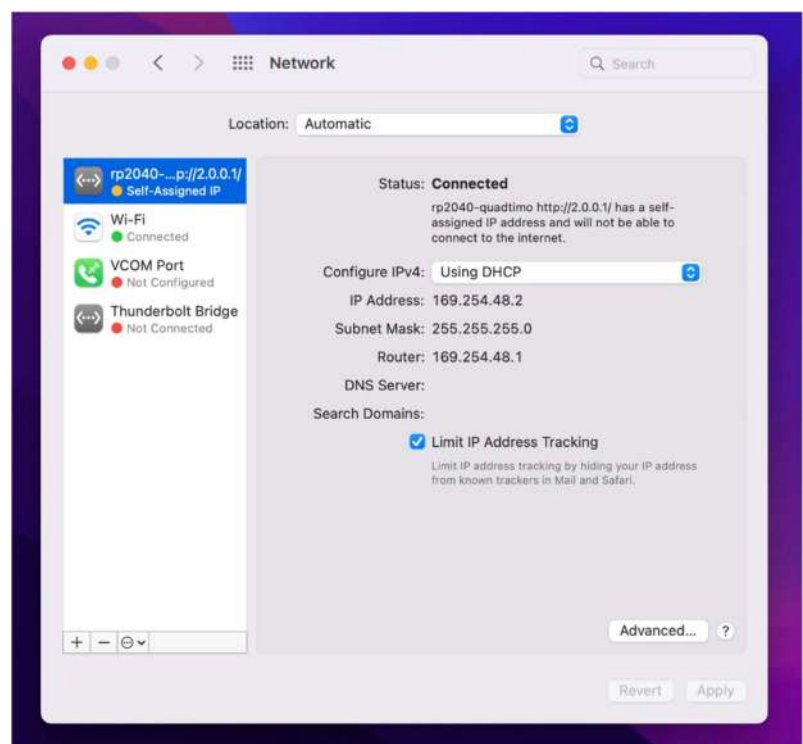
「Cerise IP アドレス」がルーターの IP アドレスになります。ここでは、デフォルトの IP アドレスが **169.254.48.1** です。



もし表示されない場合は、手動で追加する必要があるかもしれません。

画面左下の「+」アイコンをクリックし、

一致するインターフェイスを選択して「Create」を押してください。



設定方法

Blackout Lighting Console

▼Art-Net ブロードキャスト

1. Cerise トランスミッターを接続し、Wi-Fi を無効にします。
2. デバイスの IP アドレスを取得します。詳しくは「iOS で IP を取得する方法」を参照してください。

設定方法：

- 「設定 > Ethernet > デバイスをクリック」へ進み、
トランスミッターの IP アドレス（169.254.XX.1 の形式）をコピーします。
※もし XX.2 で終わる IP しか表示されていない場合は、
その IP をコピーして、末尾の「2」を「1」に変更してください。
3. ウェブブラウザを開きます。Chrome を使うと互換性が高くておすすめです。
 4. トランスミッターの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。
 5. 表示された画面で「Set USB host's default gateway」というオプションを有効にして、保存ボタンをクリックします。
 6. 「Blackout Lighting Console」アプリケーションを開きます。

 **トランスミッターを接続した後に、必ずアプリを起動してください。**

**すでにアプリがバックグラウンドで動作している場合は、
トランスミッター接続後に再起動してください。**

7. プロジェクトを開く前に、設定画面へ移動し「Ignore device Wifi status (BETA)（デバイスの Wi-Fi 状態を無視）」を有効にします。
 8. 次に、プロジェクト画面へ移動し、右上にある「Link Status（リンク状態）」を確認します。
- 「Art-Net」と「Directed Broadcast」の両方にチェックが入っていることを確認してください。

▼Art-Net ユニキャスト

ステップ 5 は、トランスミッター接続中もインターネットアクセスを維持したい場合のみ必要です。不要であれば無視できます。

1. Cerise トランスミッターを接続し、Wi-Fi を無効にします。
2. ウェブブラウザ（互換性の高い Chrome 推奨）を開きます。
3. トランスミッターの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。
4. 「Set USB host's default gateway（USB ホストのデフォルトゲートウェイを設定）」というオプションを無効にして、保存ボタンをクリックします。

5. プロジェクトを開く前に、設定画面で「Ignore device Wifi status (BETA)」を有効にします。
6. プロジェクト画面へ移動し、右上の「Link Status」で「Art-Net」と「Unicast」にチェックが入っていることを確認します。
7. ステップ 2 でコピーした IP アドレスを貼り付けます。

▼sACN

1. Cerise トランスミッターを接続し、Wi-Fi を無効にします。
2. トランスミッターの IP アドレスをブラウザに入力して、Enter キーを押します。
3. 「Set USB host's default gateway (USB ホストのデフォルトゲートウェイを設定)」というオプションを有効にして、保存ボタンをクリックします。
4. プロジェクトを開く前に、設定画面で「Ignore device Wifi status (BETA)」を有効にします。
5. プロジェクト画面へ移動し、右上の「Link Status」で「sACN」にチェックが入っていることを確認します。

Luminair

▼Art-Net ユニキャスト

ステップ 4 は、トランスミッターを接続している間もインターネットに接続したい場合のみ必要です。それ以外の場合は無視してかまいません。

1. Cerise トランスミッターを接続し、Wi-Fi を無効にします。
2. ウェブブラウザを開きます（互換性のため、Chrome を推奨）。
3. トランスミッターの IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。
4. 「Set USB host's default gateway (USB ホストのデフォルトゲートウェイを設定)」というオプションを無効にし、保存ボタンをクリックします。
5. Luminair を起動します。

💡 トランスミッターを接続した後にアプリを起動するようにしてください。

もしアプリがバックグラウンドで動作している場合は、トランスミッターを接続した後に再起動してください。

7. 「Connections (接続)」 > 「Art-Net」 > 「Output Node (出力ノード)」へ移動します。
8. 「Broadcast (ブロードキャスト)」のチェックを外します。
9. 「IP Address (IP アドレス)」の欄に、ステップ 2 でコピーした IP アドレスを貼り付けます。

▼Art-Net ブロードキャスト

1. Cerise トランスミッターを接続し、Wi-Fi を無効にします。
2. ウェブブラウザを開きます（互換性のため、Chrome を推奨）。
3. トランスミッターの IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。
4. 「Set USB host's default gateway (USB ホストのデフォルトゲートウェイを設定)」というオプションを有効にし、保存ボタンをクリックします。
5. 「Connections (接続)」 > 「Art-Net」 > 「Output Node (出力ノード)」へ移動します。
6. 「Broadcast (ブロードキャスト)」のチェックボックスにチェックを入れます。
7. トランスミッターがデバイス一覧に表示されるはずなので、それを選択します。

▼sACN

1. Cerise トランスミッターを接続し、Wi-Fi を無効にします。
2. ウェブブラウザを開きます（互換性のため、Chrome を推奨）。
3. トランスミッターの IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。
4. 「Set USB host's default gateway (USB ホストのデフォルトゲートウェイを設定)」というオプションを有効にし、保存ボタンをクリックします。
5. 「Connections (接続)」 > 「sACN」へ移動します。
6. 「U1 Enabled」のチェックボックスにチェックを入れます。

💡 どの送信方式を選べばよいか分からない場合の参考情報：

▼Art-Net

- 最も一般的な選択肢です。
- 基本的なスイッチング機器で多数の DMX ユニバースを扱う場合制限があります。
- ユニバース番号が「0」から始まるため、混乱することがあります。

▼ sACN

- マルチキャストを使用するため、大量のデータに強いです。
- ユニバース番号は「1」から始まります。
- 多数のユニバースを扱う場合におすすめです。

◇ Broadcast (ブロードキャスト)

- トランスミッターの IP アドレスを入力する必要がありません。
- ただし、インターネットや Wi-Fi 通信が完全に遮断されます。

◇ Unicast（ユニキャスト）

- トランスミッターの IP アドレスを手動で入力する必要があります。
- Wi-Fi でインターネットを同時に利用可能です。

☒ 推奨の選び方

- ユニバース数が 12 未満 → Art-Net でも sACN でも問題なし。
- 多数のユニバースを使用 → sACN がより安定。
- Wi-Fi を使いたい → Unicast を選択。
- 設定を簡単にしたい → Broadcast を選択（ただし Wi-Fi は使えなくなります）。

【よくある質問】

・ Lightning コネクタの iPad で使えますか？

理論上は Cerise トランスミッターを古い iPad で使用可能ですが、一部の旧型 iPad では診断が難しい不具合が発生することがあり、常設用途には推奨されません。

それでも試してみたい場合は、以下の Apple 純正アダプターが必要です。

<https://www.apple.com/us/search/Lightning-to-USB-3-Camera-Adapter?tab=accessories>

高解像度カメラから iPad Pro への写真・動画転送を簡単に行えるアダプターです。

USB ポートと Lightning ポートを搭載しており、外部電源供給が可能。

これは DMX 送信機の安定動作に重要です。

・ Cerise はどのデバイスで動作しますか？

Cerise トランスミッターの動作確認済みデバイス

- Windows 10
- Windows 11
- Apple 製 Mac (Intel プロセッサ搭載モデル)
- Linux (主要ディストリビューションで検証済み)
- iPad (USB-C 端子搭載モデル)
 - iPad Mini
 - iPad Pro
 - 第 10 世代 iPad
- iPad (Lightning 端子搭載モデル)
 - Apple Lightning to USB 3 Camera Adapter が必要
 - 古いモデルでは不安定な場合あり

動作しないデバイス

- Samsung 製スマートフォン
- USB ホスト機能や電力供給の制限により、Cerise が認識されません

※ Apple Silicon (M1/M2) 搭載 Mac での動作は未検証です。

※ Android 端末全般は非推奨です。

・ iPad で Cerise が認識されません。

最初に確認すべきこと：

- BOOT/Update LED が「シアン（Cyan）」で点灯しているか確認してください。
- LED が「緑（Green）」の場合、Cerise と iPad 間で USB 接続が確立されていません。

△ 接続不良の主な原因と対処法：

1. USB ケーブルの不具合

- 通信と電力供給の両方に対応した USB 2.0 以上のケーブルを使用してください。
- 一部の充電専用ケーブルでは通信ができません。

2. ドック／ dongle の制限

- USB Type-C 入力端子が充電専用になっている場合、データ通信ができないことがあります。
- 対処法：USB-A ポートを使い、Type-A to Type-C ケーブルで接続してみてください。

3. 内蔵 Ethernet カードとの干渉

- 一部のドック／dongle には内蔵の Ethernet カードがあり、Cerise との通信に干渉することがあります。
- 対処法：別のドックを試すか、Ethernet 機能のないシンプルな USB アダプターを使用してください。

・ IP アドレスを変更したら接続できなくなりました。

1. 推奨ブラウザの確認

- Google Chrome を使用してください。
- Safari や Firefox では、動作が不安定になることがあります。

2. 他のデバイスで接続を試す

- 接続できない場合は、パソコン（Windows/Mac）で同じ IP アドレスを使ってアクセスしてみてください。

3. それでも接続できない場合は、Cerise を工場出荷状態にリセット

- リセット方法は Cerise のマニュアルをご参照ください。
- リセット後は、デフォルトの IP アドレスに戻るため、再度ブラウザでアクセス可能になります。

・ CRMX Toolbox は Cerise で使えますか？

Cerise は CRMX Toolbox と互換性があります。

ただし、Bluetooth は初期状態で無効になっているため、
以下の手順で有効化する必要があります。

Bluetooth の有効化手順

1. Cerise 本体のリンクボタンを以下の順で押します：
 - 短く 1 回押す
 - すぐに続けて長押し（3 秒間）
2. CRMX Toolbox に Bluetooth デバイスが表示されるはずですが。
 - 表示されない場合は、もう一度同じ操作を繰り返してください。

設定変更後の注意点

- 設定が完了したら、Bluetooth を無効化することを推奨します。
→ 有効のままだと、接続済みの照明器具がランダムに点滅する可能性があります。
- 無効化するには、**有効化と同じボタン操作（短押し→長押し）をもう一度行ってください。

Cerise に CRMX リンクキーが表示されない場合の対処方法

リンクキーの確認方法

- CRMX リンクキーは、Cerise の WebUI（ウェブ設定画面）で「Link」および「Unlink」ボタンのすぐ隣に表示されます。

ボタンが表示されない場合の対処手順

1. Cerise 内部の「CRMX TimoTwo モジュール」をアップデートする必要があります。
2. 以下の手順でアップデートを行ってください：
 - ① Bluetooth を有効化
 - Cerise 本体のリンクボタンを「短押し → すぐに長押し（3 秒）」の順で操作します。
 - ② CRMX Toolbox アプリに接続
 - アプリの「Device（デバイス）」セクションに Cerise が表示されるはずですが。
 - ③ アップデートオプションを選択
 - 表示された Cerise デバイスに対して、モジュールのアップデートを実行します。

注意：各ユニバースに 1 つの TimoTwo が存在するため、複数の更新が必要になる場合があります。

FCC に関する注意事項

本機器は FCC 規則パート 15 に準拠しています。

使用にあたっては、以下の 2 つの条件に従う必要があります。

1. 本機器は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

FCC による承認を受けていない変更や改造を行った場合、使用者の機器操作の権限が失われる可能性があります。

注記：

本機器は、FCC 規則パート 15 に基づき Class B デジタル機器の基準に適合していることが試験によって確認されています。この基準は、住宅環境における有害な干渉から適切に保護するよう設計されています。

ただし、特定の設置条件によっては干渉が発生することがあります。

干渉が発生し、ラジオやテレビの受信に影響を与えていると判断される場合は、機器の電源を切ってから再度入れることで確認できます。

干渉を改善するために、以下の方法を試すことが推奨されます。

- 受信アンテナの方向または設置場所を変える。
- 機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談する。

本機器は、管理されていない環境における FCC の放射線曝露制限に適合しています。

使用時は、放射部（アンテナなど）と人体との間に 20cm 以上の距離を

確保してください。